

目標達成計画

作成日: 平成 23年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	現在、職員が現場で介護をしている中で業務は一人一人問題なく出来ているも、身体介護についての力量がバラバラなのが現状なので教育の場を提供する事により技術の向上を目指す必要あり。	一人一人の職員が介護技術を向上する事と共に入居者様にあった介護ができるようになる。	定期的に職員の介護技術指導を行う。また介護現場での確認を行いその都度、教育していく。	12ヶ月
2	13	現場での介護で中心(リーダー)となっている職員がリーダーとして活躍できていない事が多々ある為、今後役割の大切さを再教育していく必要あり。	中心(リーダー)となる職員が自分の立場をしっかりと自覚して業務に努め指導や教育なども一人一人の職員にしっかりと出来るようになって頂く。	リーダー研修、会議の実施。現場での確認を行いその都度、教育していく。	6ヶ月
3	48	内服薬の大切を認識して現場で業務をしているも重要性の認識に欠けている事がある為、再教育していく必要あり。	職員が各入居者様の薬を何個飲んでいるのか、何が重要なのかをしっかりと把握できる。	協力医療機関に依頼して研修をして頂く。再度、薬の重要性を現場からも教育していく。	6ヶ月
4	42	入居者様の口腔ケア、義歯の管理が不十分な所がある為、今後指導していく必要あり。	口腔ケアの重要性を知り、義歯についても同様に管理や装着の仕方なども把握する。	協力医療機関に依頼して研修をして頂く。また義歯の管理についても現場で話し合う。	3ヶ月
5	17	消防訓練について日中での訓練は実施して職員も避難経路やその場での対応を理解しているが、夜間帯での実施がない為、夜間を想定した消防訓練を実施する必要あり。	昼夜問わずに職員が焦らず対応できるようになる事に努める。	夜間を想定した消防訓練の実施。日頃からの教育をしていく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。